

Northern WINTER

北海道の冬



冬は、北海道で最も長い季節。
早い所では10月下旬から初雪が観測されます。
4月下旬によく春の陽気を感じたかと思えば、
5月のゴールデンウィーク中に雪が降ることも
やはり心配なのは、雪道の運転。
移住希望者向けに雪道運転体験を提供している自治体や、
各地域の自動車学校で雪道運転講習を開講しているので、
利用してみるのもお勧めです。

スキーやそり滑り、ワカサギ釣り、雪見風呂など
冬しか体験できない楽しみが盛りだくさんな冬。
どうぞ安全にお楽しみください。

冬の自然現象による美景



アイスバブル

凍った湖面の氷の中に気泡が閉じ込められてできるもの。湖の上に雪が積ると見られなくなるので、雪深くなる前、湖が凍り付く寒さという2つの条件が重なったタイミングに期間限定で楽しめます。



ジュエリーアイス

十勝地方にある豊頃町大津海岸で、厳冬期にのみ見られます。川の水が氷結した状態で海に流れ出て、波に揉まれるうちに角が取れたもの。透明な氷が太陽の光を受けて、宝石のような輝きを放ちます。



樹氷

冷え込んだ朝、樹木に空気中の水が付着し凍り付いた状態。霧が出やすい川沿いなどで見られます。同じく気温の低い日に、水蒸気が結晶化し空気中でキラキラと輝くことを「ダイヤモンドダスト」と言います。

冬の必需品

[車編]



スコップ

車周りの除雪や、車のはまったときに雪をかき出す役目も。小さめのものを乗せておくと何かと使えます。



毛布・ブランケット

車内が暖まるまでひざに掛けたり、雪でタイヤが空回りして動けないとき、毛布をタイヤの前に置いて車を押すと動けるようになることも。



スノーブラシ

車の屋根や窓に積もった雪を下ろします。

ブースターケーブル

冬はバッテリーが上がりやすいので、常備すれば自分も他人も助けられる便利グッズ。



[子ども編]

耳まで隠れる帽子

防寒はもちろん、転倒時に頭を保護する意味でも必須アイテムです。

つなぎ

上下が分かれていると、雪遊び中に上着の下から雪が入ることが。上下繋がったタイプが便利です。



脚絆(きゃはん)

長靴のカバーで、つなぎと靴の間に雪が入るのを防ぎます。

スノーブーツ

暖かく滑りにくいスノーブーツは大人も1足あると重宝します。

ひも付き手袋

左右の手袋を紐で繋げて上着の中を通しておくと、落として無くす心配がありません。雪を触ると濡れるので、防水性のものがベスト。